

もいや英明

ニュース

8号

守家英明 3月議会報告(R5.4)

地域のために働きます！！

丸亀市議会3月定例会 総括質疑と答弁

1. 新型コロナ対策 臨時交付金について

質 問

- ① 令和4年度事業の実施状況について
わが国では新型コロナ対策として、令和2年度から全国各自治体に対して、多額の臨時交付金が支給され、今年度もそれら交付金を活用して多数の支援事業を実施しているが、執行はどのような状況なのか？
- ② これまでの事業の効果検証について
これまで多額の臨時交付金を活用した各事業について、それぞれ効果検証はできているのか？

答 弁

- ① 今年度の国からのコロナ臨時交付金は、約7億円であり、水道料金の免除や市内公立小中学校の給食費無償化など32事業を実施している。コミュニティバスの無料支援などは通常の5割増の利用となったが、逆に農業関係に対する支援事業は、5割以下の執行状況であり各事業においてバラつきがあった。
- ② 関係機関に事業の検証を諮るとともにアンケート調査も実施した。その結果は、市ホームページに掲載している。

もりぶら ウォッチング

市道の舗装整備及び路面塗装



県道からの近道として交通量が増加し、道路の劣化が目立っていました。



カーブミラーの新規設置

県道から出入口であり、非常に危険でした。



防犯灯の修繕工事



交通看板の取替え



看板がかなり劣化しており、通学路でもあったので、内容も変えて新しく取り替えました。

水道管の修繕工事

H30に破裂して一時的な修繕をしていましたが、再び水漏れが始まっていました。



カーブミラーの修繕取替え



三差路のカーブミラーが根本から傾き、全く役に立たず非常に危険でした。

中高生の通学路でもあり、日没の早い冬は非常に危険でした。

5.垂水橋の架け換えについて

質問

① 県との協議経過について

垂水橋は、県道岡田善通寺線が架かる重要な架橋であるが、架設後60年を迎え様としており、路面や欄干に大きな傷みが見られ、1車線である事から通行者にとっては非常に危険である。
掛け替えについては、本議会においても何度か質問されてきており、昨年12月の市長答弁では「今後県に対して、折あるごとに要望していく」とのことであったが、どの様に進展しているのか？

答弁（市長）

県知事に対して、様々な機会を通じて「垂水橋の架け換え」について、強く要望してきた。
その結果、現在開会中の香川県議会2月定例会の環境建設委員会の席上、香川県道路課より「歩道を有する片側1車線の橋梁の架け換えを考えており、新年度に調査設計費を計上している。」との答弁があった様だ。大きく前進したと考えている。

令和5年度丸亀市一般会計予算

3月24日に3月定例議会が閉会し、令和5年度予算が正式に決定しました。
新年度一般会計の予算規模は584億円で、前年度と比較して45億円、率にして8.3%の増加となり、2年連続で過去最大の予算編成となりました。
新年度予算では、新型コロナワクチン接種事業、デジタル化やゼロカーボンの推進など目下の課題に引き続き取り組むほか、喫緊の課題である**浸水排水対策への取組**や**新市民会館の整備**、**公共施設の老朽化対策**による**投資的経費の増加**が予算拡大に大きく影響しました。
また、この様な状況のなか新たに**市内公立小中学校の給食費無償化**や**こども医療費での無償化の対象拡充(18歳まで)**などにも取組みます。

問題点

1. 給食費の無償化について

ポートレース事業の繰り入れ金による「次世代育成基金」を活用した小中学校の給食費無償化は、子育て世帯にとっては非常にありがたい取り組みだと思いますが、公立に限らず私立も含めたすべての児童生徒を対象にするべきと考えます。

2. 新市民会館整備の遅れについて

建設場所の途中変更(生涯学習センターから旧市役所跡地)が大きな要因となって、開館が1年遅れて令和7年度末になってしまいました。物価高騰のため更に予算の拡大が予想されます。もうこれ以上遅滞なく事業を進めるべきです。

3. 敬老行事の開催について

お年寄りに対するお祝い行事が、結局、各コミュニティに補助金を出して任せられることになりました。各コミュニティ間において、大きな差異が生じてしまうのではないのでしょうか。ある程度は行政側が主導となって行事を執り行うべきだと考えます。

2.ふるさと納税について

① 受入れ件数や金額等の現状につて

「ふるさと納税」は、わが国の寄附金控除を活用した制度であり、開始から15年目となる。寄附金の獲得に併せて各自治体の魅力を全国発信できるという大きなメリットから全国各自治体においては、様々な取り組みが実施されている。
今年度の件数や金額はどの様な状況なのか？

① 今後の取り組み方針につて

件数や金額は増加傾向にあるが、県内18自治体中13位であり、市としては最下位である。県内トップの観音寺市に比べると納税件数及び金額ともに10分の1である。今後、どの様に取り組んでいくのか？

3.防災対策の推進強化について

① 今年度は1,413件、1億5,411万円の受入となっている。因みに、令和3年度は、6,717件、1億2,969万円の受入となっている。
② 令和3年10月から、専門性の高い民間事業者へ委託し、連携を取りながら返礼品の効果的なPRや新たな返礼品の開拓等に取り組んでいる。
また、市長からのトップセールスや「現地決済型ふるさと納税システム」の検討など、先進自治体も参考に、効果的な手法を委託事業者と共に検討したい。

① 防災アドバイザーの育成について

災害被害をできる限り少なくさせるためには、「自助」「共助」が中心となる。県において現在、防災アドバイザーを認定して「自助」「共助」の啓発に努めているが、高齢化や人員不足により十分な対応ができていない。県の制度であるが、各市町がその人員育成や確保に努めるべきではないか？

② 浸水センサーの設置促進について

自然災害には、地震、大雨、津波などが考えられるが、現在の日本において大きな被害を出し、人命にも関わることが多いのは大雨被害である。
今、国土交通省において大雨被害を削減するため「小型センサー」の設置を進めている。本市としての対応はどの様に考えているのか？

① 現在、防災アドバイザーは県内で38名が登録されており、そのうち丸亀市からは13名が登録されているが、各地区での防災リーダーの人員はまだ不足している。防災アドバイザーを含む地域の防災リーダーとなる人材育成について、県とも協議していきたい。
② 国土交通省が昨年夏から5自治体をモデル地区として実証実験を行い、課題の解消や実運用に向けた取り組みを実施している。この動向を見ながら対応していきたい。

① 学校トイレの改修について

学校トイレの改修については、長寿命化計画を基に校舎改修に合わせて整備されているが、改修されていない学校では、子ども達が利用を我慢している場合もある様である。長寿命化計画の短縮など何か特策は無いのか？

② 通学路の安全整備について

現在、市内において改善を必要とする通学路を多く見かける。通学路のカラー塗装や路面標示が全く見えない場所もある。今後の取り組みは？

① 学校トイレの改修については、劣化が激しい場合については、校舎改修を待たずにトイレのみを改修することもある。しかし、学校施設長寿命化計画を基に実施していきたい。ただ、令和5年度において、長寿命化計画の見直しを予定しているので、計画の短縮も含め改めて検討したい。
② 通学路のカラー塗装については、施工から6年以上経過しているが、道路管理者が塗装の状態を確認しながら、必要な場所から順次塗り直しを進めている。